

成田市立図書館の未来 6月23日



35周年の節目を迎えて

地域住民が講演やシンポジウム、ワークショップを通してこれからの図書館の役割を考える講座「成田市立図書館の未来」。全3回のうち最終回のこの日は、本館のある赤坂地区や分館のある公津の杜地区の特徴を踏まえ、グループごとに地域と図書館の関わり方について話し合いました。参加者からは「館内にお茶をしながらほかの人と本について話せる場所が欲しい」といった案が出されるなど、市民が考える理想の図書館像がいくつも挙げられていました。



①地域の特徴について話し合う②地図には周辺の情報がびっしり③グループ内でアイデアを発表④全体で情報の共有も

ラベンダースティック作り 6月21日



旬のハーブを使って

香りも見た目も楽しめるアロマグッズで癒やされようと「ラベンダースティック作り」が市体育館で行われました。このスティックは束ねたラベンダーをリボンで編み込んだもので、香りが1年以上続くのが特長。講師から作り方を教わった参加者は、茎を短くしたり、リボンを2本使ってみたりとアレンジしながら制作しました。参加者の一人は「良い香りなので、バッグに入れて使いたいです」と笑顔で話していました。



爽やかな香りに包まれながら

リズム&ステップ入門 6月19日



音に乗って楽しく踊る

気軽にダンスを楽しんでもらおうと「リズム&ステップ入門」が市体育館で行われました。参加者はステップの踏み方やリズムを取るコツを学んだ後、ヒップホップダンスの振り付けに挑戦。細かい足の動きに苦戦する姿も見られましたが、最後は全員で曲に合わせて踊ることができました。初めて参加したという女性は「腕と足を同時に動かすのが難しかったが楽しく踊ることができた。また次も参加したい」と話していました。



講師の踊りを見ながら



宗吾霊堂紫陽花まつり 6月2日~23日



花々が美しく咲き誇る

梅雨の季節を彩るアジサイを楽しんでもらおうと「宗吾霊堂紫陽花まつり」が開催されました。期間中の日曜日には境内で箏や尺八、二胡の演奏会のほか、お茶会、農作物の販売などが行われました。大本堂の裏手にあるあじさい園では、ガクアジサイや柏葉アジサイなど約7,000株もの色とりどりのアジサイが訪れた人たちを楽しませていました。



①大本堂での演奏会②雨粒を受けて輝く③アジサイが通路を囲む壮観な光景④園内には多くの人が訪れる

寄席さんりづか亭 6月15日



巧みな話術に笑いあふれる

日本の伝統芸能である落語に親んでもらおうと「寄席さんりづか亭」が三里塚コミュニティセンターで開催されました。お茶子として参加した子どもたちの進行の下、5人の出演者が古典落語の「金明竹」や「真田小僧」など得意のネタを披露。子どもから大人まで幅広い世代の人が見物に訪れた会場は、笑いであふれていました。



話に引き込まれる観客

たけのご親子広場 6月29日



みんなで一緒に楽しもう

さまざまな遊びを通して交流を図ろうと「たけのご親子広場」が八生公民館で開催されました。全4回のうち初回のこの日は、細く切った新聞紙を使って遊びました。初めは緊張した様子だった子どもたちも用意されたたくさんの新聞紙に大喜び。紙の山に飛び込んだり、上に投げて雨のように降らせたりと大はしゃぎで遊んでいました。参加した保護者は「子ども同士の交流や育児の相談ができてよかった」と話していました。



うわあ、新聞紙の雨だあ